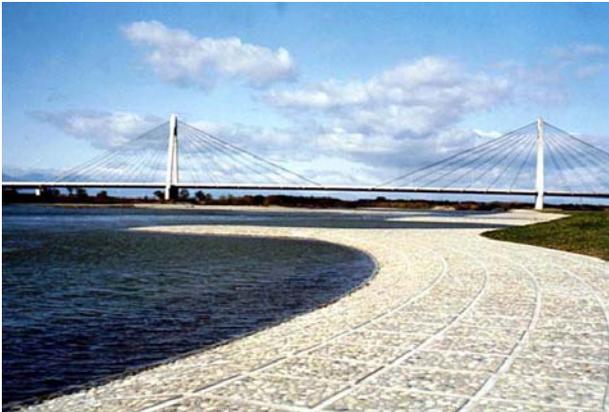
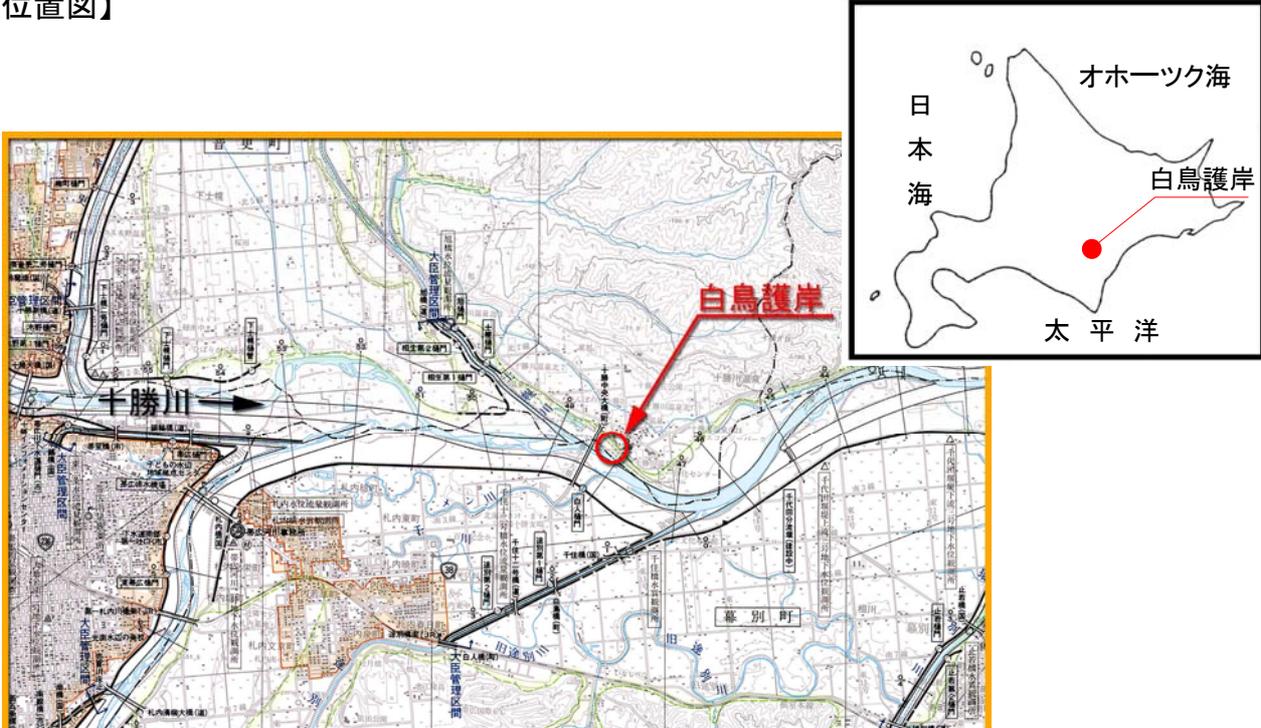


観光社会資本の事例

テーマ	十勝川温泉のウォーターフロントとしての整備
【施設の状況写真】	
	
<p>護岸直ぐ上流には、斜張橋の美しさを持つ十勝中央大橋があります。</p>	<p>ワンドと水制によって親水効果を持ち合わせた護岸となっています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>冬には白鳥をはじめ、数多くの水鳥が飛来する観光の名所ともなっています。</p>	<p>夏にはいかだ下りのイベントもあり、上流のすずらん大橋を始点とし、ここが終点となっています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>十勝川温泉のウォーターフロントとして整備された白鳥護岸は、冬には白鳥をはじめ、数多くの水鳥が飛来する観光の名所となっており、『十勝川白鳥まつり』等のイベントが開催されています。また、夏には『十勝川イカダ下り』の終着点としても利用されており、年間を通じ多くの人々に親しまれています。</p>	

テーマ	十勝川温泉のウォーターフロントとしての整備
【社会資本の基礎データ】 ○名称 白鳥護岸 ○所在地 北海道河東郡音更町十勝川温泉 ○事業名 ○事業主体 北海道開発局帯広開発建設部 ○事業期間 平成1年着工 平成4年完成	
【社会資本の役割・効果】 ○治水効果 白鳥護岸は、ワンド(湾曲部)と水制によって親水効果も持ち合わせた護岸となっています。突き出した水制により、河道の安定化と河岸近くの流速を弱める事で河岸を保護します。 また、護岸を湾曲部のある形状にするとともに、勾配を緩くすることにより、見学者等が安全で容易に水辺に近づけるため、飛来した白鳥を身近に感じる事ができます。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 帯広開発建設部(アクアパーク白鳥護岸) http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/tokachi/river/sizen03.html#04	